

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成30年度 第4回入間市健康福祉センター運営協議会
開 催 日 時	平成31年1月22日(火) 午後7時00分 開会・午後8時00分 閉会
開 催 場 所	入間市健康福祉センター3階 301・302会議室
議 長 氏 名	入間市健康福祉センター運営協議会会長 諸井 和江
出席委員(者)氏名	今井 英雄 委員 上杉 恵理 委員 白井 秀 委員 金子 明美 委員 黒古 次男 委員 齋藤 勝久 委員 坂本 嘉久 委員 佐藤 啓吾 委員 田川 静子 委員 滝沢久美子 委員 藤牧 利昭 委員 諸井 和江 委員 柳 辰男 委員 山本 寛 委員
欠席委員(者)氏名	寺師 良樹 委員
説明者の職氏名	健康推進部長 晝間 昭彦 健康推進部次長 田代 清治 健康推進部参事兼所長 中村 孝 地域保健課長 須田 美菜子 地域保健課 主幹 中村 陽一 地域保健課 主幹 吉川 真奈美 地域保健課 副主幹 市川 智子 地域保健課 主査 石山 実穂
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題(1)第3次健康いるま21計画の策定について (2)入間市自殺対策計画の策定について (3)その他 4 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	【第3次健康いるま21計画に関する資料】 資料 第3次健康いるま21計画(原案) 資料 第3次健康いるま21計画(原案)に対して寄せられた意見等の概要と市の考え方 資料2 第3次健康いるま21計画の策定について(答申)(案)  【入間市自殺対策計画に関する資料】 資料 入間市自殺対策計画(原案) 資料 入間市自殺対策計画(原案)に対して寄せられた意見等の概要と市の考え方 資料1 [基本施策5] 児童生徒のSOSの出し方に関する教育 資料3 入間市自殺対策計画の策定について(答申)(案)
事務局職員職氏名	健康管理課長 石原 健二 健康管理課 主幹 吉田 智博 健康管理課 主事 橋本 翔太
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 (2)

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

#### 1 議 題

(1) 第3次健康いるま21計画の策定について

第3次健康いるま21計画(原案)に対して寄せられた意見等の概要と市の考え方と答申について説明した。

(2) 入間市自殺対策計画の策定について

入間市自殺対策計画(原案)に対して寄せられた意見等の概要と市の考え方と答申について説明した。

(3) その他

事務局より第16回健康福祉センターまつりの予定について説明した。

## 会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
司会(健康管理課主幹)	開会(省略)
諸井会長	会長あいさつ(省略)
議長	<p>本日の出席委員は14名です。健康福祉センター運営協議会条例第6条第2項の規定に基づき委員の半数以上が出席されていますので、会議は成立します。会議録の署名委員は坂本委員にお願いいたします。</p> <p>それでは議事に入ります。はじめに、議題(1)第3次健康いるま21計画の策定について、事務局より説明願います。</p>
地域保健課主幹	<p>第3次健康いるま21計画の策定について説明いたします。</p> <p>本日までの流れとしては、平成30年9月26日に第3回健康福祉センター運営協議会実施後、平成30年10月10日から同月23日までの間、政策プロジェクトチームを通じて庁内の意見聴取を実施いたしました。庁内からの意見といたしましては、各分野における表現の統一や文章構成が分かりづらい箇所の修正が主なもので、内容が変更になるような意見はありませんでした。庁内意見聴取を受けて修正した後に、平成30年11月16日から12月17日までの約1ヵ月「市民意見聴取」を実施いたしました。</p> <p>市民意見聴取の結果は、資料の「第3次健康いるま21計画(原案)に対して寄せられた意見等の概要と市の考え方」のとおり、「運動」の分野と「地域づくり」の分野について5件いただきました。特に地域づくりの分野について、資料2ページの15行目、「住民の集まる場、地域の人が行きやすく、行きたいと思える場所がたくさんあることにより、人々は知り合いも増え、打ち解け、コミュニケーションが生まれ、情報が共有でき、ささえあうことのできるまちづくりができると思われる。」、同資料、同じく22行目、「ボランティアを増やすことは、理解者を増やすことにもなり、ボランティアと住民とのつながりにより相乗効果が期待されるので、良い取り組みである。さらに、公民館や健康福祉センター、地域の公会堂等が、もっと活用できたら、活動内容も広がり、住民も参加しやすくなると思う。」、同じく3ページ、4行目、「直接健康にかかわる関係機関だけでなく、市全体の取り組みと考えると、市民が相談しやすい雰囲気の間をつくり、職員一人一人の親身な対応も、住民の心を開くきっかけになる。それがいずれ『健康』に関連していくのではないだろうか」との意見をいただきました。健康とは無縁と思われがちな自治会活動や地域での趣味のサークル活動が健康の保持増進につながると行政としても考えますし、公共施設に限らず、地域住民の身近な場所で、市民、ボランティア、市職員が一緒になり健康な地域づくりに取り組んでまいります。</p> <p>今回実施した「市民意見聴取」による計画の修正はありませんが、いただいた意見は今後の事業実施の参考とさせていただきます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>以上で「第3次健康いるま21計画の策定について」の説明とさせていただきます。</p> <p>事務局の説明に対して質疑がありますか。 (質疑なし)</p> <p>ここでお諮りいたします。事務局原案を以って答申してよろしいでしょうか。</p>
全委員	(同意)
議長	<p>同意が得られましたので、事務局原案を以って答申させていただきます。</p> <p>次に議題(2)入間市自殺対策計画の策定について、事務局より説明願います。</p>
地域保健課主査	<p>初めに、計画原案の訂正についてですが、原案の34ページと資料1をご覧ください。訂正箇所は2カ所あります。一つ目は、資料1の1行目「生きることの包括的な支援」の「ことの」の3文字を追記します。二つ目は、同じく3行目のとおり「身近にいる大人がそれを受け止め、適切な支援ができるようにすること」という文言を追記いたします。こちらは平成30年8月31日付の文部科学省及び厚生労働省の通知にて、「SOSの出し方教育を推進するための指導」に関する資料に追記した文言があるとの指摘を受けたものです。</p> <p>それでは、入間市自殺対策計画の策定について説明いたします。</p> <p>入間市自殺対策計画についても、第3次健康いるま21計画と同様に「市民意見聴取」を実施した結果、2人の方から7件の意見をいただきました。その意見に対する市の対応は、資料「入間市自殺対策計画(原案)に対して寄せられた意見等の概要と市の考え方」とおりであります。</p> <p>まず、1ページ、No.1をご覧ください。「表1で自殺者が減少していることが示されており、取組の成果が出ていると思われるが、相談窓口の存在をもっと多くの人に周知する方法を考えてほしい。」という意見をいただきました。市の対応としては、公式ホームページや様々なイベントの機会を活用し相談窓口の周知に努めたいと思います。</p> <p>No.2をご覧ください。「認知症サポーター養成講座や救急法基礎講習は、受講者も増え市民の理解が深まっている。これらと同様に、ゲートキーパー養成講座の開催を要望する。」という意見をいただきました。市の対応としては、同講座の開催について今後検討したいと思います。</p> <p>No.3をご覧ください。「自殺予防週間における啓発事業として、専門家による講演会を開催し、市民に「気づきと見守り」の心を浸透させることで、自殺予防週間や自殺対策強化月間について、その認知度を国の大綱</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>議長</p> <p>今井委員</p>	<p>が目標とする数値にできるのではないか。」という意見をいただきました。市の対応としては、自殺対策に関連したうつ病講演会などを開催してきましたが、周知方法を工夫し、今後も継続して取組みたいと思います。</p> <p>No.4 をご覧ください。「学校休業日に、各公民館の部屋を 1 ヶ所開放し、子どもたちの居場所づくりとしてはどうか。」という意見をいただきました。市の対応としては、公民館では子どもを対象とした体験、教室等の様々な事業を開催おり、長期休暇に合わせて、貴重な体験ができるような事業も実施しています。今後も効果的な内容を検討し事業を実施していきます。</p> <p>No.5 をご覧ください。「市の施策として、各公民館でサロンを開催し、運営をボランティアグループに委託し、高齢者の居場所づくりを実施されたい」という意見をいただきました。市の対応としては、各公民館では高齢者を対象に趣味、教養、運動など様々な教室等を開催し、生きがい、仲間づくりなどの場を設けています。地域の方や介護等専門知識のある方によるものもあり、その中で参加者が気軽に相談できるよう今後も心がけていきます。</p> <p>No.6 をご覧ください。「児童生徒の出すSOSに周囲の大人がいち早く気づき、対応できるようにするため、気づきの感性を高める教員研修を実施してほしい。また、SOSの発信が発信者にとって不幸な状況とならないよう配慮ある教育をお願いしたい。」という意見をいただきました。市の対応としては、身近にいる大人（教員）が子どもたちが発するSOSを受け止め、支援していくという観点から、教職員の感性を高める研修は必要と考えます。また、SOSの発信がイジメの原因とならないよう配慮していきます。</p> <p>No.7 をご覧ください。「経験上、長時間労働が思考力を奪い、現状から逃れるために自殺を選択してしまうことを実感している。事業経営者にこの怖さを指導し、従業員から自殺者を出さないよう、就業規則の厳守を含めた指導を切望する。」という意見をいただきました。市の対応としては、市に指導する権限はありませんが、事業所等に対しては制度の周知等を引き続き行っていきます。また、市においても職員の超過勤務の削減に継続して取り組んでまいります。</p> <p>以上で「入間市自殺対策計画の策定について」の説明とさせていただきます。</p> <p>事務局の説明に対して質疑がありますか。</p> <p>説明の最後にあった「市においても職員の超過勤務の削減に継続して取り組んでまいります。」の部分ですが、これについては進めていただきたいと思います。市長、副市長、部長、次長、課長等、上席の職員が早く退庁すれば、相談する職員がいなくなるので職員が退庁しやすくなるのでは</p>

発 言 者	発 言 内 容
健康推進部長	<p>ないか。ボトムアップで実施するのではなく、トップダウンで進めていただきたいと思います。</p> <p>職員の時間外勤務ですが、水曜日は「ノー残業デー」、水曜日以外の勤務日においても時間外勤務は 20 時 15 分までを原則としていますので、20 時 15 分には退庁しやすい環境になっております。</p> <p>上席の職員から早く退庁することについては、週に 1 回、市長、副市長、教育長、12 人の部長で庁議を行っており、その際に毎回ではありませんが、市長から各部長に対し職員の時間外勤務の削減について指示が出ていますので、しっかり対応していきたいと考えております。</p>
佐藤委員	<p>第 3 次健康いるま 21 計画及び入間市自殺対策計画を具体的にどう実現させるのか、PDCA サイクルで言うところの D o（実施）をどの様に具体的に進めていくのかということが最も重要であると思います。</p> <p>また、計画の中にはボランティアの活用等、市民との協働が謳われているが、実際自治会等で催しを計画して声をかけてもなかなか参加してもらえない方々がいる。この辺りを解決するには色々な制度が機能しないといけないと思うが、両計画に共通していることだが相談するにしても担当課が多すぎるため、ワンストップで済むような方策を考える必要があると思います。今後、計画を進めていく中で考えいただきたい。</p>
柳委員	<p>今、佐藤委員が仰っていたことに私も賛同します。この計画がどう実現されていくのか大事であり、その方法を考えていかなければならない。</p> <p>さて、第 3 次健康いるま 21 計画及び入間市自殺対策計画それぞれの表紙のキャラクターの表情が違うが、もし吹き出しを付けるとしたら、どのような言葉を発しているのでしょうか。</p> <p>また、両計画は新しい教育課程の中で大事にされる教材になり得るので、小・中学校や高校で活用するように教育委員会に働きかけてほしい。</p>
地域保健課長	<p>吹き出しのことについては、担当職員から回答させていただきます。</p> <p>第 3 次健康いるま 21 計画及び入間市自殺対策計画をどの様に実現していくのかということですが、各事業にどう役立てていくのかという点は、平成 31 年度から順次考えていきます。そして 1 年経過したら事業の振り返りというか、その評価をしていきたいと考えています。評価結果については当協議会に報告して、委員の皆様からご意見をいただき計画を推進していきたいと考えています。</p> <p>先ほど、佐藤委員からもお話がありました「声かけをしても参加しない方々がいる」という点ですが、私たちも同じように感じています。講演会や各種教室にお誘いしても反応していただけない人があるのは事実です。</p>

発 言 者	発 言 内 容
地域保健課主幹	<p>その点については、こちらから訪問や電話等で声かけ信頼関係を築くことを地道に行っていきたいと思います。各地区を担当する保健師がおりますので関係機関の協力を仰ぎながら連携して地道に進めていきたいと考えております。</p> <p>ワンストップ窓口にできないかという点ですが、これから市民説明会が行われますが、公共施設マネジメント推進計画というものがあります。この計画には、各地区にワンストップ窓口を置く地区センターが計画されており、現在は検討段階ですが福祉総合相談窓口という形でワンストップ化を考えています。ただし、すぐに各地区の施設が完成するわけではありませんので、何かありましたら地域保健課には地区担当保健師がおりますので、ご相談いただければそれぞれの担当課に繋いでいきたいと考えております。</p> <p>教育現場における第3次健康いるま21計画及び入間市自殺対策計画の活用ですが、特に自殺対策については、学校の協力をいただく部分があると思いますので、教材としての活用あるいは教員による周知を教育委員会に働きかけていきたいと考えています。</p> <p>ただいま課長からお答えいたしました、関連機関が多いということは、それだけ多くの力が集まるというところで一つメリットがあると考えています。地域に出ていく私たち専門職が声を出せない方を含め、色々な声を拾いながら支援していききたいと考えています。</p> <p>第3次健康いるま21計画の表紙の入間市マスコットキャラクター「いるティー」が発している言葉についてですが、計画の副題となっている「だれもが生き生き「元気な入間」」のとおり、健康で元気にということと、今回は地域づくりが入っていますので、みんな仲良くということでの様な活発な感じのいるティーを選びました。</p>
地域保健課主査	<p>入間市自殺対策計画の表紙のいるティーについては、自殺対策計画というと重苦しいイメージを持たれるかもしれませんが、本計画は生きるための支援をする計画であると考えますので、生き生きと前を向いている表情のいるティーを選びました。</p>
議長	<p>ただいま、3人の委員から事務局案に対して意見が出ましたが、事務局でもう一度お考えください。</p> <p>近年では隣近所のお付き合いが少なく、入間市に転入して来る方も多くいますが、自治会には加入しない方が多くいます。自治会役員も知恵を絞ってはいますが、無理矢理に加入させる訳にもいかないし、地域の付き合い方はすごく難しくなっていると思います。</p> <p>ここで委員の皆様にお伺いします。答申するにあたり、本日の意見及び回答を第3次健康いるま21計画（原案）及び入間市自殺対策計画（原</p>

発 言 者	発 言 内 容
今井委員	<p>案)に分かり易く追記していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>答申前に、正副会長と事務局で協議した上で一部修正していただきたいと思ひます。私たち委員は正副会長に一任することいいと思ひます。</p>
地域保健課長	<p>答申につきましては、第3次健康いるま21計画(原案)及び入間市自殺対策計画(原案)のとおり答申させていただきたいと思ひます。本日いただいた意見については、先ほども申しましたが、実施した事業の評価を行い当協議会に報告させていただく機会もありますので、そういった中でお答えさせていただきたいと思ひます。</p>
佐藤委員	<p>この様な計画を策定した後に大事なことは、柳委員も申しましたが、いかに活用するかだと思ひますので配付するだけでなく具体的な活用について検討をお願いします。</p>
齋藤委員	<p>入間市自殺対策計画(原案)の37ページの生活困窮者への対策に関連する食糧支援の問題についてですが、昨年「フードバンクいるま」が設立されたということで、今回の計画には追記することはできないと思ひますが、今後どの様に活用していくのか明確にしておき、生活困窮者への対策の一環として位置付けていただきたいです。</p> <p>全体的にはこの計画をどの様に活用するかが1番大事であると思ひます。自治会としても出前事業等を依頼するなどして活用していきたいと思ひます。</p>
地域保健課主幹	<p>計画の活用ですが、冊子になるとかなりボリュームが出ますので、A3版の見開きで両面印刷の概要版の作成を考えています。</p> <p>現在、地域保健課では専門職を色々な場所に講師派遣しております。年間では170件超、小学校のPTAや自治会、高齢者のクラブ等から依頼をいただいて講師を派遣しています。そういった際に要望をいただいた内容以外にも、計画の内容に関することをお話していきたいと考えています。また、地域保健課の関係団体である食生活改善推進協議会や母子愛育会、健康ボランティアの方々と必ず一度は計画の中身を確認しながら勉強会等を実施していきたいと考えています。</p> <p>「フードバンクいるま」については、入間市自殺対策計画(原案)の中には盛り込むことができませんでしたが、生活困窮者の対応をする担当課とは連携を図りながら、色々な方々の対応をさせていただいておりますので、フードバンクいるまについても踏まえながら対応していきます。</p>
議長	<p>ここで質疑を終了します。</p>



発 言 者	発 言 内 容
全委員	<p>ここでお諮りいたします。事務局原案を以って答申してよろしいでしょうか。</p> <p>(同意)</p>
議長	<p>同意が得られましたので、事務局原案を以って答申させていただきます。</p> <p>これで「第3次健康いるま21計画」及び「入間市自殺対策計画」について、答申案が決定いたしましたので、事務局から答申に関する手続きについて説明をお願いします。</p>
地域保健課長	<p>資料2及び資料3を鑑に「第3次健康いるま21計画」及び「入間市自殺対策計画」を2月14日の木曜日に入間市役所において諸井会長と柳副会長から市長に答申していただきます。その後、計画を印刷し3月末までには委員の皆様へ送付する予定であります。また、皆様へ送付する際には市公式ホームページにも掲載します。概要版につきましては4月から配布できるように準備を進めております。</p>
議長	<p>ただいまの説明のとおり手続きを進めてまいりますので、ご了承ください。</p> <p>次に「その他」を議題といたします。委員の皆様から何かございますか。</p> <p>(意見等なし)</p> <p>なければ、事務局から連絡事項等ありますか。</p>
健康管理課長	<p>第16回健康福祉センターまつりについてお知らせをいたします。平成31年3月10日の日曜日午前10時から開催します。次世代につなげる助け合いをサブテーマに、現在実行委員会を中心にイベント内容の詳細をつめています。当協議会の委員の皆様にも後日改めてご案内いたしますが、当日は当センターで活動している団体のパネル展示、健康イベント、ステージでの催し物、模擬店等盛りだくさんの内容にてお待ちしておりますので、是非ご来場ください。</p>
議長	<p>これで議題は終了しましたので、議長を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
司会(健康管理課主幹)	<p>諸井会長、大変お疲れ様でした。閉会の挨拶を柳副会長よりお願いします。</p>
柳副会長	<p>閉会あいさつ(省略)</p>

発 言 者	発 言 内 容
司会(健康管理課主幹)	これで平成 30 年度第 4 回健康福祉センター運営協議会を終了いたします。
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>平成 3 1 年 2 月 2 2 日</p> <p>議 長 の 署 名 _____ 諸井 和江</p> <p>議長が指名した者の署名 _____ 坂本 嘉久</p>	